

平成 28 年度 第 5 回コンクリート常任委員会 議事録（案）

日 時：2017 年 1 月 16 日（月）14 時～17 時

場 所：土木学会 講堂

出席者：前川委員長、石田幹事長、井上、上田、氏家、内田、河合、河野、岸、坂井、坂田、下村、鈴木、竹田、武若、田中、渡辺（谷村委員代理）、土谷、二羽、濱田、松田、丸屋、水口、宮川、睦好、森の各委員、綾野、岩波、小林、齊藤、名倉、久田の各委員兼幹事、渡邊賢三オブザーバ（鹿島建設）

配布資料：

- 5-0 平成 28 年度第 5 回コンクリート常任委員会 議事次第
- 5-1 平成 28 年度第 4 回コンクリート常任委員会 議事録案
- 5-2 SIP 対応 BFS コンクリートを用いたプレキャスト部材に関する研究小委員会
- 5-3 石炭灰混合材料の利用拡大に向けた設計施工指針の策定について（案）
- 5-4 セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会 委員構成
- 5-5 混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工研究小委員会 委員構成
- 5-6 コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会
- 5-7 平成 29 年度「重点研究課題（研究助成金）」募集について（ご案内）
- 5-8 平成 29 年度全国大会開催に伴う研究討論会企画募集について
- 5-9 平成 29 年度「JSCE2015 に基づく活動計画に対する助成」の募集について（ご案内）
- 5-10 平成 28 年度コンクリート委員会 一般会計 予算執行状況
- 5-11 348 委員会（第 2 期）「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会」委員構成
- 5-12 352 コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会 委員構成
- 5-13 施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針（2016 年版）に関する講習会
- 5-14 若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会
- 5-15 公益信託土木学会学術交流基金ジョイントセミナー 助成申請書

議 事：

1. 委員長挨拶

前川委員長より、今年の後半には示方書改訂の審議が始まるだけでなく、新たにいくつかの受託研究も始まる予定であり、引き続き立場を越えたご協力を頂きたい旨、挨拶があった。

2. 次期委員長選挙開票・委員長候補者の決定

齊藤幹事および久米村事務局員により開票作業が行われた。その結果、次期委員長候補者として前川宏一現委員長が選出された旨、齊藤幹事より報告があった。前川現委員長の受諾の意思が確認されたため、この結果を理事会に上申することとした。

3. 平成 28 年度 第 4 回コンクリート常任委員会議事録の確認

久田幹事より、資料 5-1 に基づき前回議事録案が説明され、異議なく承認された。

審議事項：

1. 第2種委員会の新規設置

- (1) SIP対応BFSコンクリートを用いたプレキャスト部材に関する研究小委員会

綾野幹事より、資料5-2に基づき、委員会設置趣旨が説明された。これに関連して、次の議論があった。

- ・現在活動中の高炉スラグの委員会との棲み分けは。
→必ずしもGGBFの大量使用を目指していないこと、細骨材にBFSを用いている点が異なる。
- ・SIPは委託者なのか。
→SIPはスポンサーであるが委託者ではない。SIPとの契約は委託者のものとは別である。作成する指針の名称には、SIPは付けない。
- ・委員会名称において、「SIP対応」は冒頭でなくてもよいのではないか。
→土木学会事務局は了解しているが、再度幹事団にて検討するとともにSIPに確認する。
- ・委員会名称において、BFSという略称は適切か。
→委員長候補者とも相談の上、再度検討する。

議論の結果、委員会設置が承認された。委員会番号は262、活動期間は2017年4月から2019年3月まで。

(2) 石炭灰混合材料の設計施工および環境安全性評価に関する研究小委員会

石田幹事長より、資料5-3に基づき、委員会設置趣旨が説明された。これに関連して、次の議論があった。

- ・委員会名称は、資料5-0の議事次第に書かれている名称になる予定である。
- ・扱う範囲が広いことから、複数の調査研究委員会をまたがる委員会を組織する予定である。コンクリート委員会には幹事委員会としての役割が期待されている。
- ・昨年度までは、技術推進機構で受けていたが、今年度からは調査研究委員会が受けることとなった。

議論の結果、委員会設置が承認された。委員会番号は261、活動期間は2020年3月まで。

2. 第2種委員会「セメント系補強材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会」の委員構成

下村委員より、資料5-4に基づき、委員構成案の説明があり、異議なく承認された。

3. 第2種委員会「混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工研究小委員会」の委員追加 前川委員長より、資料5-5に基づき、委員追加の説明があり、異議なく承認された。

4. 第3種委員会「コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会」 の新規設置

鹿島建設 渡邊賢三氏より、資料5-6に基づき、委員会設置趣旨の説明があった。これに関連して、次の議論があった。

- ・示方書施工編では、養生に関する質問が多いので、これらに対応できる成果が期待される。
- ・養生の程度は、かぶりとのトレードオフの関係にあることを踏まえて欲しい。
- ・スリップフォーム工法の場合も同様であるので、留意して欲しい。
- ・対象とするセメント種類は。
→示方書での対象以外にも、低熱セメントなども視野に入れたい。
- ・養生効果の定量化についても取り組んで欲しい。
- ・プレキャスト部材も対象とするのか。
→メインは現場打ちだが、プレキャスト部材も対象としたい。
- ・過去に、養生の歴史について調べた成果があるので参考にして欲しい。

・現在、示方書施工編で寒中コンクリートの養生について調べているので、これも参考にして欲しい。

議論の結果、委員会設置が承認された。委員会番号は356、今後、委員公募の手続きに入る。

5. 土木学会重点研究課題の募集

石田幹事長より、資料5-7に基づき、平成29年度の重点研究課題への応募について説明があった。常任委員から提案があれば、石田幹事長まで連絡されたい。特に提案がなければ、幹事団で内容を検討して応募する。現時点での幹事団の案は次のとおり。

- ・セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会関係（地盤工学委員会と連携）
- ・生産性向上の関係（ICT、土工などと連携）
- ・コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会の発展的継続

6. 土木学会全国大会研究討論会の企画募集

石田幹事長より、資料5-8に基づき、平成29年度の全国大会研究討論会の企画募集について説明があった。常任委員から提案があれば、石田幹事長まで連絡されたい。特に提案がなければ、幹事団で内容を検討して応募する。現時点での幹事団の案は次のとおり。

- ・コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会の内容をベース

7. 平成29年度「JSCE2015に基づく活動計画に対する助成」の募集

石田幹事長より、資料5-9に基づき、平成29年度のJSCE2015に基づく活動計画に対する助成の募集概要について説明があった。常任委員から提案があれば、石田幹事長まで連絡されたい。

8. 平成29年度 ジョイントセミナー助成申請について

濱田委員より、資料5-15に基づき、平成29年度に開催予定のジョイントセミナーへの助成申請について説明があった。来年度は、当初ミャンマーで開催する予定であったが、モンゴルで6月に開催する方向で検討を進めている。これに関連して、次の議論があった。

- ・カウンターパートはモンゴル土木学会か、モンゴルコンクリート工学会か。カウンターパートと海外協力協定を締結していないと応募できないのでは。
→事務局にも確認の上、対応する。

9. その他

特になし

報告事項：

1. 平成28年度コンクリート委員会予算執行状況

石田幹事長より、資料5-10に基づき、予算執行状況の報告があった。

2. 第3種委員会の委員構成

(1) 「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348委員会）」第2期

小林幹事より、資料5-11に基づき、委員追加の報告があった。

(2) 「コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会（352委員会）」

小林幹事より、資料5-12に基づき、委員追加および委員退任の報告があった。

3. 報告会・講習会の開催について

- (1) 「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針（案）」支部講習会の開催状況
石田幹事長より、資料 5-13 に基づき、上記講習会の開催状況の報告があった。
- (2) 「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」講習会の開催状況
名倉幹事より、上記講習会の開催状況の報告があった。東京は 12/22 に開催済み、大阪は 1/19
開催予定である。平成 29 年度は、6 支部において同様の講習会を開催する予定である。
- (3) 「若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会 構造物設計の基本と施工・維持管理と
の連携」の開催
田中委員より、資料 5-14 に基づき、上記講習会の開催予定（5/19）が報告された。資料につ
いて、次の点を修正する
 - ・ 吉田賞選考委員会の委員長名
 - ・ 吉田徳次郎博士の名前
 - ・ 注釈の「*」の使い方

4. その他

(1) 今年度のジョイントセミナー

濱田委員より、今年度のジョイントセミナーは、3/17 に、インドネシアのマカッサル市で開催
予定であることが報告された。内容としては、示方書維持管理編の紹介であり、下村委員と小林
幹事が講師を務める。また、三井住友建設の方に現地での工事の内容についてご講演いただく予
定である。

次回開催日：

第 6 回コンクリート常任委員会

日 時：2017 年 3 月 16 日（木）14 時～17 時

場 所：土木学会講堂（予定）

議題は 3 月 8 日（水）までに幹事へ

懇談事項：

1. 示方書の改訂について（宮川委員，下村委員）
各編の連携について

以 上